

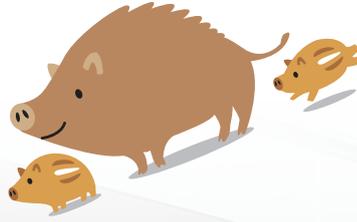
2019

同友しずおか

1

VOL.482

改正



私の逸品

(株)鈴木土建

想いをつなぐ温故知新

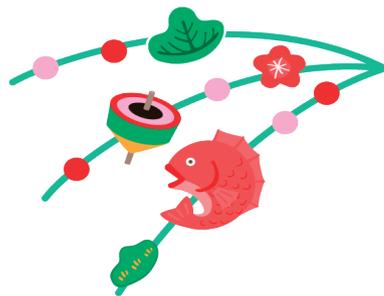


静岡県中小企業家同友会



井上 斉

代表理事 ワシロック工業(株) 代表取締役



謹んで新春のお慶びを申し上げます。日頃、同友会運動にご尽力いただいておりますことに感謝申し上げます。今年は十二支12番目の亥年であり、平成最後の年でもありません。猪突猛進の言葉どおりに、皆様が益々ご活躍されることを祈念申し上げます。また、運動の更なる飛躍の年としましょう。

国内景気は穏やかな拡大基調で、高度経済成長期のいごなき景気を超え、戦後2番目の経済成長を続けているとのことですが、地域経済そして国民には実感なき拡大となっております。また、世界経済に目を向ければ、米中の貿易戦争の懸念がくすぶり、カントリーリスク等、懸念される要素が企業経営者のマインドを消極的なものとしております。加えて地球温暖化に伴う気象状況の変化は、各所で未曾有の災害をもたらし、地震列島である我が国も、想定される大規模地震等、自力では解決できない危機的状況も想定されます。有事に対する自らの備えと、地域の良好な協力関係が益々重要となってきます。

昨年沼津支部設営で開催された全県経営フォーラムは歴史に残るものでした。「人が生きる経営を実践し地域社会の担い手になろう」と今こそ3つの目的の総合実践のとき」をテーマに300名を超えるメンバーが集いました。人が真に生きる経営を実践するため、6つの分科会での学びと、何よりも徳武産業(株)取締役会長 十河孝男氏の講演では、顧客に寄り添い、感動を与える経営に涙腺が緩んだことが昨日のように思い出されます。経営指針成文化運動を推進し、経営者の責任自覚、理想的企業像の追及、そして経営環境改善のため、中小企業振興基本条例制定を出発点として、関係機関との協力の必要性も強く感じました。

我々を取り巻く経営環境は日々変化しております。経営課題を克服してゆくため、経営指針を実践し、会員経営者同士が切磋琢磨する環境を創り上げ、地域と共に生きる中小企業を目指しましょう。そして、静岡県をはじめ各市町が中小企業振興基本条例を制定していることは、企業単独では困難な経営環境の改善を目指す我々にとっても、また、地域で暮らす人々にとっても大きな後ろ盾となることとしましょう。今まさに、制定された条例の実質的運用が求められております。近時、私たち中小企業では、人手不足と事業承継が大きな問題として取り上げられており、中小企業の存続と発展が地域経済に大きな影響力をもたらします。本年も各関係機関との情報の共有と政策要望を継続し、地域で暮らす人々が安心して暮らして行ける社会のために、また、地域から高い水準で期待される、魅力ある企業にしてゆく運動を推進しましょう。



【告知案内】全国の学びを静岡の地で！2019年5月は初の静岡開催！

第33回中同協役員研修会in静岡

日程：2019年5月23日(木)～24日(金) (2日間)

会場：レイアップ御幸町ビル 会議室 (静岡市)

講師：中同協役員

※参加費・内容詳細は追ってご連絡します。



各支部役員の皆様はもちろん、会歴問わず、会員の方も奮ってご予定ください。同友会運動の歴史、理念、到達点、今後の課題と展望、リーダーの役割など、内容盛りだくさんで学べます。支部の垣根を超え、静岡で、全国で活躍される中同協役員の実践報告から、共に学びあいましょう！



想いをつなぐ温故知新

(株)鈴木土建 (榛原支部)

代表取締役 鈴木 徹氏

宝箱のガレージ
牧之原市で土建業を営む(株)鈴木土建。代表取締役にして榛原支部長である鈴木徹氏のお宅のガレージには、趣味で集めたモノがたくさんあります。その中にはレアなモノも多くありました。元々はガレージ兼商談スペースのつもりだったらしいのですが、お客様があまり来ないうちに、いつの間にか鈴木氏ご自身の秘密基地みたいになってしまったそうです。聞くところによると、所ジョージさんの「世田谷ベース」にインスパイアされ「牧之原ベース」を目指している、とのこと。
中でも一番大きく目を引いたものが、今回の逸品であるクラシックカーです。



鈴木 徹氏 (左)

いすゞ117クーペ

1963年イタリアのデザイナー、ジウジアーロデザインのコンセプトカーとして発表された、いすゞのスペシャリティーカー。曲線を活かした優雅なデザインで人気を博した自動車です。各部に斬新で繊細なデザイン処理が伺える117クーペは、21世紀の現代に至るまで、そのデザインは完成度の高いものとして評価されてきました。

この117クーペは、先代の父親が1978年に購入してから40年間乗り続けているそうです。「ただ手元に置いておくだけではダメになってしまふ。手入れをして大事に乗ることで、その価値は何倍にもなる」と語る鈴木氏。実際に見たクラシックカーはとて綺麗に手入れされており、古さを感じるどころか見ているだけでワクワクし、



童心を呼び起こさせる感さがありました。



想いをつなぐ

今ではクラシックカーを整備できる業者もかなり少なくなつたそう、現役で走らせることも大変だと思えます。しかし、様々な想いと共に先代から受け継いできた117クーペは、どんな高級車にも勝るとも劣らない価値があります。

先代から受け継いだクラシックカーを大事にする鈴木氏の姿勢には、社員を大事にする人材育成にも繋がるモノがあると感じました。

さて、静岡同友会榛原支部は次年度より「榛南支部」へ名称が変わります。

平成最後、そして榛原支部最後の支部長を務める鈴木氏は、増強活動にも力を入れてきましたが、同時に減らない組織づくりを実践してきました。
今いる人を活かし、価値を高め、榛南支部へとつなぐ。温故知新とは、「想いを繋いで価値を高める」ことだと学ぶことが出来た取材でした。

取材・記事 鈴木克哉氏
(株)カーデンブラン季風庭・榛原支部
中川 泰典氏

(株)スマートブレイン・榛原支部
河内 崇文氏

(株)鈴木土建

〒421-0534 牧之原市堀野新田161
TEL: 0548-58-0104
URL <http://www.s-doken.com/>

創業 1928年
社員数 正規15名 パート2名
入会年月 2002年6月
事業内容 土木・建築・上下水道工事、民間・公共工事(土木・とび・石工・舗装・しゅんせつ・造園・建築・水道・鋼構造物・管工事)

会員訪問記

あらゆるニーズの対応を目指し
カーライフをワンストップでサポート！

(株)ステック
代表取締役社長 菅野 太氏 (御殿場支部)



菅野 太氏 (右から3人目) と御殿場支部取材陣

新店舗オープン

R246沿いで富士山をバックに自動車販売を行う(株)ステックがこの程店舗改装オープンしました。高年式で低走行車をメインに扱い、常時150台を展示。販売はもとより点検・整備、そして板金から保険業務に至るまで一貫した自社体制を構築しています。また、今回の改装ではキッズルームを設置し、待合時にも様々なもてなしができるよう導線を整備。地元の方々や女性を中心としたお客様のあらゆるニーズに対応できるように、優しい環境の提供を目指しました。

社員からの事業継承

設立は1990年で間もなく28年目になりますが、菅野太氏が社長に就任したのは3年前のこと。前社長からは就任の1年前から、当時店長であった菅野氏に相談があり、引き継ぐことになりました。立場が変わる中で様々な課題を確認し、わからないことは相談したり、自分で情報収集したりと問題



菅野 太氏



点を克服し、株式を買い取ることにしました。

同友会のネットワークから得るもの

社長就任間もない菅野氏が、業績の回復と共に手掛けていきたかったことの一つに、店舗の改修がありました。その工事に携わったのが、杉山正英氏 (旬杉山正五商店・御殿場支部)。経営者に成りたてのタイミングであったこともあり相談をしたところ、同友会での勉強が今後につながるかと理解し、入会しました。菅野いわく「建物より入会が先になりましたが…笑」。現在も、業務多忙の中でできる限り参加し学び、他業

(株)ステック
〒412-0017 御殿場市塚原145-4
TEL : 0550-89-7794
URL : <http://stc-car.jp/>

設立 1990年
社員数 25人 (アルバイト含む)
入会年月 2016年10月
事業内容 新車販売、中古車販売、車検、整備、自動車板金、塗装、自動車保険業務

- 種々のネットワークづくりで経営のヒントを得ているようです。
現在、社長就任から3年が経ちました。業績も安定し、更なる拡大に向けて奮闘中です。
- 取材・記事 片野貴一郎氏 (株)モスク・クリエイション・御殿場支部
- 撮影 勝間田 誠氏 (株)文化堂・御殿場支部
- 取材 米原 誠氏 (株)クリーニングのオリブ・御殿場支部
- 岩淵 貴司氏 (株)KTSオペレーション・御殿場支部
- 立道 浩幸氏 (株)蒼設計・御殿場支部
- 杉山 正英氏 (旬)杉山正五商店・御殿場支部

会員訪問記

後継者が夢を持てる企業づくりを目指して
日々奮闘

(株)秋山建設
代表取締役社長 秋山 敦氏 (三島支部)



秋山 敦氏 (右)

父の病気を機に事業承継

1977年の創業以来、順風満帆な経営を続けてきた(株)秋山建設。秋山敦氏はその経営を引き継ぐため、当時勤めていた東京都内の建築会社を退職し、1993年に入社しました。公私ともに充実した日々を送っていましたが、入社から一年半が過ぎたある日、先代社長である父に、余命宣告が下されたのです。考える暇もなく、先代からの業務の引き継ぎが始まりました。見積書を病院に持っていった先代の指示を仰ぐという、まさに二人三脚。「当時は驚いたし大変だったが、親父が7年間生きて頑張ってくれたのが、会社にとっては幸運だった。親父が長く生きてくれて良かった」と、秋山氏は当時のことを振り返りました。こうして29歳で会社を引き継ぎ、これまで順調な経営を続けてきました。

経営者の学び合いの場と確信し入会を決意

ある日秋山氏は、同級生である会員から例会に誘われます。断れずに参加してみたところ、グループ討論で自分の悩みを話した際、皆が真剣に話を聞いてくれ、様々な意見をもらいました。「経営者

だからこそその考え方や悩みを共有できる場だ」と感じ、その日の懇親会で入会を決意しました。「会社を良くするため一生懸命勉強している皆を見ると、自分はこのれで良いのだろうか、と思ったりもした」と、秋山氏は入会当時を振り返ります。

ある日、秋山氏の次男が入社を希望してきたことから、後継者育成という使命に火が点いた秋山氏次男も入社以来、社長の仕事を引き継ぐべく、日々精進しているそうです。

後継者の成長を見守る温かい眼差し

後継者となる次男に話を聞くと「(株)秋山建設の三代目となるため、



いろいろなことにチャレンジしていきたい」と話してくれました。その姿を黙って見守る秋山氏。そして、まだ芽吹いたばかりの若い力。二人への取材を通じて、大らかな器の父のもとで、エネルギーッシュな息子がやがて大輪の花を咲かせるのだろうと感じました。三代目が夢や希望を抱ける会社をつくるため、その礎を築いている二代目社長。亡き先代の頃から続く安定経営も、きつと引き継がれることでしょう。

取材・記事 山下 直毅氏
(株)サンアイ電気 三島支部

(株)秋山建設

〒411-0047 三島市佐野36-11
TEL : 055-993-2316

創業 1979年6月
社員数 3名
入会年月 2016年2月
事業内容 建築全般

第46回青年経営者全国交流会を沖縄で開催!

静岡同友会からは20名が参加

11月29日(木)～30日(金)

11月29日～30日にロジワールホテル那覇ほか4会場にて第46回青年経営者全国交流会が「肝高く万国津梁を担う結人たれ!」をスローガンに行われ、全国の同友会から約1300名が参加しました。

1日目の分科会では「企業づくりと青年部活動」「人を生かす経営の実践」や「平和」「地域づくり」をテーマとする特別分科会を含む14の分科会がそれぞれの会場で行われました。2日目の全体会では、喜納朝勝沖縄同友会代表理事と広浜泰久中協会長のあいさつに続いて、宮崎由至中同協顧問が「今日の異端は明日の真ん中」青年経営者への期待」をテーマに特別報告をしました。宮崎氏は「同友会は経営を語る会であり、運営を語る会ではない。同友会での学びをしっかりと深めてほしい」と参加者にエールを送りました。その後の記念講演では「ビジョン実現のための創業と研究」研究発想から世界をねらう」をテーマにH2L(株)の創業者である玉城絵美氏が登壇。最後に次回開催地の熊本へとバトンが渡され、熱気にあふれた2日間の青全交は終了しました。



玉城 絵美氏



宮崎 由至氏

をテーマとする特別分科会を含む14の分科会がそれぞれの会場で行われました。2日目の全体会では、喜納朝勝沖縄同友会代表理事と広浜泰久中協会長のあいさつに続いて、宮崎由至中同協顧問が「今日の異端は明日の真ん中」青年経営者への期待」をテーマに特別報告をしました。宮崎氏は「同友会は経営を語る会であり、運営を語る会ではない。同友会での学びをしっかりと深めてほしい」と参加者にエールを送りました。その後の記念講演では「ビジョン実現のための創業と研究」研究発想から世界をねらう」をテーマにH2L(株)の創業者である玉城絵美氏が登壇。最後に次回開催地の熊本へとバトンが渡され、熱気にあふれた2日間の青全交は終了しました。

◆参加者感想

「人」と向き合う。社長自身が社員のことをどれだけ知っているのか。社長自身が社員にどれだけ懐を広げられているのか。つくづく社員と向き合えていないと痛感した分科会でした。
 ・「おはようございます」「ありがとうございます」身近な人こそ大切に。



経営指針の成文化、そして実践への決意

第15期経営指針を創る会二泊修了式

12月8日(土)～9日(日) 静岡ホテル時之栖

開講から15期目を数える経営指針を創る会は、今期最終講の一泊修了式を開催しました。修了式では第15期生の会員5名が、6月から全12講に亘って成文化した経営指針書を同期生、創る会スタッフの前で発表しました。第1講から経営者としての自分を見つめ直し、真摯に議論を重ねてきました。仲間と共に本音で語りあう過程で、互いに思いやり、励ましあい、切磋琢磨して作り上げた経営指針の実践に向けてのスタートとなりました。



◆第15期修了生

- 浅田 佳宏氏 (カナデホーム) (株)浅田建設/沼津支部
- 興津 浩隆氏 (株)内牧コンクリート工業所/静岡支部
- 山岸 功宗氏 (山岸法律事務所/静岡支部)
- 藤田 優介氏 (株)フジタ塗装/志太支部)
- 松田 和哉氏 (株)トーカイ/中遠支部)



ストレス社会とうつ病

講師 静岡大学人文社会科学部 教授 幸田るみ子氏

12月8日(土)

厚労省指定の五大疾患のうち「がん」「脳卒中」「心筋梗塞」「糖尿病」とは異なり、唯一年々増加しているのが「精神疾患」です。との語りから幸田先生の講座は始まりました。職場でのうつ病や高齢化に伴う認知症患者の増加で、精神疾患による労災補償は増加しています。このことについて国も重点的に対策を取り始め、大企業や大規模事業所ではストレスチェックの義務化など、職場におけるメンタルヘルス対策が取られています。そのような中、中小企業家が雇用維持の為に会社として取れる対策を学び、議論しました。



幸田 るみ子氏

経営者や役職者と社員の距離が近い中小企業にあって、私たちがからこそできるメンタルヘルス対策の行動はたくさんあります。社員一人ひとりとの定期的な面談、仕事上でうつになりにくい風通しの良い社風づくり、うつ病から復帰した社員への周りの理解を生み出すための社内での予防学習の必要性など、活発な意見が交わされました。このことは、受講生の関心の高さを如実に示しています。そして何よりも、悩み多き孤独な経営者自身が「うつ」にならない為にも、同友会の仲間と多くを語り合うのは一番の予防処方となりますね。

さて、同友会大学の別の魅力は講座後の2次会にあります。その道研究の第一人者である大学の教授陣と酒を呑み交わし雑談を交える講座とは別角度で学べる機会は、通常の企業活動ではありえない経営者として見識を広めてくれる体験となっています。

関心のあるテーマがありましたら是非同友会大学にご参加下さい。

柴 健氏
(南シバ・フードサービス・静岡支部)

静岡大学連携講座

第7講

「地域に根付く産業の歴史」

講師：大石 智一氏 (株)大成社 11月14日(水)



大石 智一氏

富士市で塗装業を営む大石氏。由比・蒲原地域が発祥の地とされている「鋼構造物塗装」の歴史、塗装業界において由比・蒲原という地域そのものが一つのブランドとして大きな役割を持っていることを紹介しました。また、自身の創業時の想いに触れ「やって失敗が2割、やらずに後悔が8割と言われる。ぜひ様々なことにチャレンジして欲しい」と学生に伝えました。

第8講

「人を幸せにする機械づくりで地域に貢献」

講師：河合 浩史氏 板橋工機(株) 11月21日(水)



河合 浩史氏

完全受注生産でお客様の求める省力化機械の設計・制作・改造を手掛ける河合氏が、自社理念に触れながら人生での気づきを話しました。生産性を上げる省力化と人が不要となる省人化。人を大切にしたい思いと必ずしもそうならない現実の間で考え続け、「足りない部分を補う機械」を造ることが自社の役割と思いが固まりました。「会社の理念と同様に、皆が生き方を考えることが人生を豊かにするために大切」と学生に伝えました。

第9講

「どんな未来を次世代に残すのか」

講師：三田 宏一氏 (有)エムケイテクノ 11月28日(水)



三田 宏一氏

田方郡函南町で電子部品製造会社を経営する三田氏。中小企業の経営者が地域づくりに密接に関わり、地域の活気づくりや若者の育成など様々な役割を積極的に担っていることを話しました。また、それは中小企業憲章の冒頭にある「中小企業は、経済を牽引する力であり、社会の主役である」という言葉どおりの実践であることを学生に力強く伝えました。

第10講

「中小企業における自社商品開発の実際」

講師：九川 治喜氏 丸山工業(株) 12月5日(水)



九川 治喜氏

富士宮市で金属プレス・パイプ加工会社を経営する九川氏。商品の紹介を交え、中小企業の自社製品開発の実情を学生に伝えました。マグネシウムという素材や様々な人との出会いから、経営者としての夢でもあった自社製品「マルコ・ケーナ」を開発。音楽をライフワークとする九川氏の商品に懸ける情熱と美しいケーナの音色に、学生からも拍手が送られていました。

1月・2月

DOYU CALENDAR

1月16日(水)～2月15日(金)

1月 17日(木)	県政策委員会(景況調査執筆者会議) (18:30 同友会事務局) 富士新春同伴懇親例会 (18:30 旬魚の蔵 かっぱう 角山) 中遠例会 (19:00 iプラザ)
18日(金)	県共育委員会 (19:00 同友会事務局)
19日(土)	沼津新年会 (19:00 FDIビルディング6階)
23日(水)	県理事会 (17:00 同友会事務局) 中同協役員研修会in静岡 実行委員会 (第1回) (19:15 同友会事務局) イントロセミナーin沼津 (19:00 プラサヴェルデ)
24日(木)	志太例会 (19:00 藤枝文化センター)
25日(金)	会員経営者が語る「イントロセミナー～同友会と私」 (19:00 同友会事務局)
26日(土)	第3回青年部「朝まで討論会」(17:00 つま恋) 静岡共学ゼミ (14:00 かまくら文庫)

28日(月)	三島賀詞交歓会 (18:30 三島商工会議所)
31日(木)	榛原例会 (19:00 きてご榛原)
2月 8日(金)	富士宮例会 (19:00 志ほ川)
9日(土)	同友会大学⑥ (14:00 同友会事務局)
12日(火)	正副代表理事会 (17:00 同友会事務局) 静岡例会 (19:00 ベガサート)
13日(水)	御殿場例会 (19:00 エピ・スクエア)
14日(木)	県共育委員会 (19:00 同友会事務局)
15日(金)	県総務財務委員会 (16:00 同友会事務局)



《あなたのスケジュールノートに必要事項をご記入ください》

★事務局冬期休暇について：12/29(土)～1/6(日)

同友会で経営者が変わる、社員が変わる、会社が変わる。



中小企業家同友会とは

静岡同友会は1974年に71名の経営者が呼びかけあい、設立されました。約1,100名の経営者が、「経営体質の強化」「経営者の能力向上」「経営環境の改善」をめざし、活動しています。全国各地で開催される全国大会をはじめ、県全体で行う定時総会・全県経営フォーラム、また、経営課題別の専門委員会、県下11支部での活動、行政や関係諸団体との懇談、連携等、多岐に亘る活動をしています。



同友会3つの目的

1

よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

2

よい経営者になろう

同友会は、中小企業が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

3

よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく、社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。



平成30年度 重点課題

I. 経営指針成文化の環境整備を進め、労使見解に基づく人を生かす経営の実践企業を増やします

II. 中小企業振興基本条例運動を推進し、県・市町の行政・金融・関係機関との連携を強化し地域づくりをめざします

III. 2020年ビジョン3年目にあたり、早期に1200名会員を達成し、支部のさらなる活性をはかります



静岡同友会
Facebookページ



静岡同友会Facebookページで、会員企業訪問の様子や各支部例会の案内を掲載しています。ぜひご覧ください！